

第9章 フォローアップ

新水道ビジョンでは、幅広い関係者が今後の水道の理想像を共有し、役割分担に応じた取り組みに挑戦できるよう、それら取り組むべき事項、方策を示しています。

新水道ビジョンで示された方策の推進には、関係者がそれぞれの方策において到達点を設定し、いつまでにどういう状態になれば到達点に達したと見なせるのかということを意識して取り組むことが重要です。ここで、方策の到達点は、新水道ビジョンで示した取り組みの目指すべき方向性に合致し、その一部は当面の目標点への到達に資するものである必要があります。そして、それぞれの方策の到達点が相まって、水道の「安全」、「強靱」、「持続」で表現される姿が実現し、最終的には50年から100年後を見据えた水道の理想像が具現化します。

それぞれの関係者は、役割分担に応じた必要な方策の推進において、計画性を持って取り組み、可能な限り客観的にその達成状況を把握・評価し、目標達成につなげる努力を積み重ねていかなければなりません。

国としても、関係者との連携、意見交換、推進方策の検討の場を持ち、積極的な施策の推進を図ります。また、関係者の意見を聴取しつつロードマップを定め、取り組みの方向性の確認、重点的な実現方策の追加、見直し等について、適切な期間を定めてフォローアップを行うこととします。

本ビジョンの策定に当たっては、「新水道ビジョン策定検討会」を設置して、専門的見地からの意見を諮った。

○ 新水道ビジョン策定検討会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

浅見 真理	国立保健医療科学院 生活環境研究部 上席主任研究官
岡部 洋	社団法人日本水道工業団体連合会 上級アドバイザー
尾崎 勝	社団法人日本水道協会 専務理事
木暮 昭彦	埼玉県保健医療部生活衛生課 (水道担当) 主幹
佐藤 裕弥	浜銀総合研究所 地域戦略研究部 地域経営研究室 室長
永井 雅師	全日本水道労働組合 執行委員長 (平成24年9月から)
滝沢 智	東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 教授 (座長)
長岡 裕	東京都市大学 工学部 都市工学科 教授
服部 博光	一般社団法人 水道運営管理協会 代表理事
平田 水夏	横浜市水道局「水のマイスター」
吉岡 律司	岩手県矢巾町上下水道課業務係 主査

※ 岡崎 徹 全日本水道労働組合 前執行委員長 (平成24年8月まで)

○ 新水道ビジョン 検討経緯

平成 24 年	2 月 10 日	第 1 回検討会
	2 月 16 日～3 月 2 日	関係団体との懇談会
	3 月 9 日	第 2 回検討会
	3 月 26 日	第 3 回検討会
	5 月 11 日	第 4 回検討会
	6 月 12 日	第 5 回検討会
	7 月 23 日	第 6 回検討会
	8 月 21 日	第 7 回検討会
	8 月 22 日～8 月 23 日	被災事業者との意見交換会（岩手・宮城）
	9 月 4 日	第 8 回検討会
	10 月 29 日	被災事業者との意見交換会（福島）
	10 月 31 日	第 9 回検討会
	11 月 26 日	第 10 回検討会
	12 月 18 日	第 11 回検討会
	12 月 22 日	新水道ビジョンワークショップ
平成 25 年	1 月 23 日	第 12 回検討会
	2 月 21 日～3 月 15 日	「新水道ビジョン（案）」に対する意見の募集
	3 月 1 日	新水道ビジョンシンポジウム
	3 月 25 日	第 13 回検討会